

宇陀市国民健康保険
第2期データヘルス計画
中間評価

令和5年3月
宇陀市

目次

1. はじめに 2
2. 中間評価の方法 2
3. 個別事業評価 3
4. 事業の精査について 16
5. 今後の予定について 16
6. 資料 17

1. はじめに

データヘルス計画は健診結果や医療情報（レセプト等から得られる情報）等のデータ分析から得られる健康課題に対し、その解決のために事業を企画、実施、評価し、被保険者の生活習慣病の予防や健康づくりを推進するために策定するものです。

本市では、令和2年3月に第2期データヘルス計画を令和2年度から令和5年度までの4か年計画で策定し、被保険者の健康の維持増進を図るべく各種事業に取り組んでいるところです。計画策定から2年が経過したことから、この度、進捗を評価し目標達成のために必要な事業の改善点の洗い出しをし、事業の見直しを行いました。

本来、中間評価は計画期間の後半の取組に向け指標の見直し等も含めて実施することが求められています。しかし、中間評価後の計画期間が1年余りであること、令和5年度には第3期データヘルス計画の策定に着手する必要があることから、今回の中間評価では、評価指標についての見直しは行わず、事業の廃止や変更により評価不能となった個別事業の削除にとどめています。次年度に実施する最終評価を踏まえ、次期計画策定の際に事業の企画、評価指標の設定等を再考したいと考えています。

また、奈良県では、平成30年4月に奈良県国民健康保険団体連合会（以下「国保連合会」。）に国保事務支援センターを設置し、県内市町村の国保事務及び保健事業の共同化、医療費適正化の具体的な取組の推進を図っているところです。今後も保健事業の推進や第3期データヘルス計画策定に当たっては、奈良県及び国保連合会との連携を強化するとともに、庁内関係課と連携した保健事業の推進を図り、被保険者の健康寿命の延伸、QOLの向上を目指して参ります。

2. 中間評価の方法

- (1) それぞれの事業の評価指標について策定から現時点までの実績をベースライン値と比較し、最終目標の達成が見込まれるか否かを判定しました。ただし、A判定であっても、現状のままでは最終評価までに目標達成が見込めない場合は「A*」と表示しました。

評価判定	ベースライン値との比較
A	改善している
B	横ばい
C	悪化している
D	評価困難

- (2) 指標が改善しているもの、悪化しているもの、それぞれについて成功要因と未達要因の検証を実施しました。
- (3) (2) の検証結果をふまえ、事業毎に今後の方向性を示しています。

3. 個別事業評価

個別保健事業を平成30年度から令和3年度の4年度分の実績について、5段階で評価しました。「A：改善している」「A*：改善しているが目標達成が見込めない」「B：横ばい」「C：悪化している」「D：評価困難」の5項目に分類し、評価しました。

上記目標を達成するための保健事業									
事業名		目 標		実績値				評価	
		指 標	目標値	H30	R1	R2	R3		
1	特定健康診査事業	特定健診受診率	35.0%	31.8%	33.0%	30.4%	35.8%	A	
2	お早め健康診査事業	お早め健診受診率	12.8%	11.7%	10.2%	9.0%	12.0%	A*	
3	人間ドック・脳ドックの受診費用助成	人間ドック等受診者数（うち特定健診対象者数）	900名	583名 (576)	560名 (553)	563名 (559)	663名 (658)	A*	
		特定健診受診率【再掲】	35.0%	31.8%	33.0%	30.4%	35.8%		
4	がん検診受診勧奨事業	検診受診率	30.0%	胃がん	18.9%	18.6%	15.8%	14.7%	C
				肺がん	17.2%	18.6%	15.0%	17.4%	
				大腸がん	21.0%	21.8%	18.1%	21.2%	
		40.0%	乳がん	27.5%	28.7%	24.7%	25.6%		
			子宮がん	22.3%	23.1%	20.7%	21.0%		
5	特定健康診査未受診者への再勧奨とお早め健康診査事業への参加勧奨	特定健診受診率【再掲】	35.0%	31.8%	33.0%	30.4%	35.8%	A	
		お早め健診受診率【再掲】	12.8%	11.7%	10.2%	9.0%	12.0%	A*	
6	ふしめ年齢無料健康診査助成事業	クーポン利用率	35.0%	29.6%	21.1%	21.4%	実施なし	D	
		特定健診受診率【再掲】	35.0%	31.8%	33.0%	30.4%	35.8%		
7	特定保健指導	保健指導終了率	36.0%	32.8%	43.6%	39.6%	44.4%	A	
8	特定健康診査結果説明会	説明会参加率	30.0%	26.1%	10.7%	実施なし	実施なし	D	
		特定保健指導終了率【再掲】	36.0%	32.8%	43.6%	39.6%	44.4%		

事業名		目 標		実 績 値				評価
		指 標	目標値	H30	R1	R2	R3	
9	喫煙・飲酒指導	喫煙率	8.2%	11.8%	12.8%	11.0%	11.4%	B
		男性 毎日 2合以上飲酒割合	11.3%	12.6%	13.4%	12.2%	11.6%	A*
		女性 毎日 1合以上飲酒割合	2.9%	3.2%	3.3%	3.5%	3.5%	C
10	さらっとヘルシー教室	メタボ該当者率	17.3%	18.2%	17.3%	19.9%	19.7%	C
11	歯周病対策事業	何でもかんで食べ ることができる割合	76.6%	69.6%	70.8%	68.7%	77.3%	A
12	レッドカード事業	高血圧要医療者の 割合	27.5%	28.9%	26.8%	30.8%	29.9%	C
		脂質異常要医療者の 割合	26.4%	27.9%	29.8%	29.1%	28.6%	
		糖尿病要医療者の 割合(※)	10.0%	7.7%	8.0%	7.6%	7.9%	
13	糖尿病性腎症重症化予 防指導事業	指導実施者のうち 人工透析移行患者 数	0名	実施 なし	0名	0名	0名	B
14	運動啓発冊子作成	運動習慣者の割合	男性 44.7%	39.0%	41.2%	41.3%	39.3%	C
			女性 48.1%	32.9%	34.6%	33.6%	32.2%	
15	運動教室助成事業	運動習慣者の割合 【再掲】	男性 44.7%	39.0%	41.2%	41.3%	39.3%	C
			女性 48.1%	32.9%	34.6%	33.6%	32.2%	
16	宇陀けあネット活用の 啓発	重症投薬者のべ人 数(※)	400名	928名	746名	584名	696名	D
		多剤投薬者のべ人 数(※)	800名	221名	170名	182名	203名	D

(※) …算出方法の変更のため計画策定時の平成30年度実績値を修正

個別事業ごとの評価

評価判定において4つの指標を定めています。

アウトカム…成果、アウトプット…事業結果、プロセス…過程、ストラクチャー…体制

1.特定健康診査事業

目的	高血圧、糖尿病などの生活習慣病は自覚症状がほとんどないまま進行し、心筋梗塞や脳卒中など深刻な病気の原因となります。そのため、毎年特定健康診査の受診を促し、生活習慣病の発症や重症化予防を進めていきます。
事業の概要	宇陀市国民健康保険被保険者の40歳から74歳の方を対象に特定健康診査を集団健診（市内4か所の保健センター）と個別健診（県集合契約医療機関）で実施します。
評価結果	<p>成功要因</p> <p>未達要因</p> <p>【アウトカム】平成30年度：特定健診受診率 31.8%（策定時） 令和3年度：特定健診受診率 35.8%（現状値） 令和5年度：特定健診受診率 35.0%（目標値）</p> <p>特定健診受診率は令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響で2.6ポイント下がりましたが、令和3年度は5.4ポイント上昇しました。</p> <p>【プロセス】市民の方で構成された「けんしんすすめ隊」による健診啓発や職員による未受診者への受診勧奨、令和3年度からの受診費用の無料化により受診率を上げることができました。健診受診勧奨対象者として無関心層や通院中の方の受診率が伸びていません。</p> <p>【ストラクチャー】特定健康診査事業で会計年度職員を1名増員し事務処理を円滑にできました。また、国保事務支援センターとの共同事業で受診勧奨事業も実施できました。</p>
	今後の方向性

2.お早め健康診査事業

目的	高血圧、糖尿病などの生活習慣病は自覚症状がほとんどないまま進行し、心筋梗塞や脳卒中など深刻な病気の原因となります。そのため、若年からの健診受診の習慣づけと生活習慣病の発症予防を進めていきます。
事業の概要	宇陀市国民健康保険被保険者の35歳から39歳の方を対象に健康診査を集団健診（市内4か所の保健センター）と個別健診（指定医療機関）で実施します。

評価結果	成功要因 未達要因	<p>【アウトカム】平成30年度：お早め健診受診率 11.7%（策定時） 令和3年度：お早め健診受診率 12.0%（現状値） 令和5年度：お早め健診受診率 12.8%（目標値）</p> <p>健診受診率は令和元年度と令和2年度にそれぞれ 1.5 ポイントと 1.2 ポイント下がりましたが、令和3年度は 3.0 ポイント上昇しました。</p> <p>【プロセス】若年層への電話受診勧奨を実施しましたが、不在が多く本人につながりませんでした。健診の Web 予約を開始しましたが、システム不備により一旦中断し令和4年度から再開しています。</p> <p>【ストラクチャー】特定健康診査事業で会計年度職員を1名増員したことで、事務処理を円滑にできました。</p>
	今後の方向性	受診率向上のため若年層に向けた受診勧奨を再考し、今後も事業を継続します。

3.人間ドック・脳ドックの受診費用助成

目的	人間ドック・脳ドックの受診費用の一部助成を実施し、被保険者の疾病予防と早期発見・早期治療による健康の保持と増進を目的とします。
事業の概要	宇陀市国民健康保険被保険者の35歳から74歳の方を対象に、特定健康診査の検査項目を含めた人間ドック・脳ドックを5か所の指定医療機関で実施し、受診費用のおよそ7割を助成します。
評価結果	<p>【アウトカム】平成30年度：特定健診受診率 31.8%（策定時） 令和3年度：特定健診受診率 35.8%（現状値） 令和5年度：特定健診受診率 35.0%（目標値）</p> <p>【アウトプット】平成30年度：ドック受診者数 583 名（策定時） （うち特定健診対象者 576 名） 令和3年度：ドック受診者数 663 名（現状値） （うち特定健診対象者 658 名） 令和5年度：ドック受診者数 900 名（目標値）</p> <p>被保険者数の減少に伴い事業対象者数も減少していますが、年々受診者は増加傾向にあります。助成割合を令和2年度より5割から7割に引き上げ、新型コロナウイルス感染症による健診受診控えが落ち着いた令和3年度は受診者が前年度より100名増加しました。</p> <p>【プロセス】35歳以上の国保資格者を対象に人間ドック・脳ドックの受診費用を助成</p> <p>【ストラクチャー】保険年金課、中央保健センター</p>
	今後の方向性

4.がん検診受診勧奨事業

目的	市民の死因別死亡数の第1位はがんとなっています。がんの早期発見・早期治療につなげ、がんによる医療費の適正化につなげます。
事業の概要	対象者に各種がん検診の案内を個別郵送および広報紙へ封入し受診勧奨を行い、検診を集団検診（市内4か所の保健センター）と個別検診（指定医療機関）にて特定健診と同日実施します。がんによる死亡率の減少を目的に、がんについての正しい知識の普及や定期的な検診受診の呼びかけを実施します。
評価結果	<p>成功要因</p> <p>未達要因</p> <p>【アウトカム】 平成30年度：がん検診受診率 胃がん 18.9% 肺がん 17.2% 大腸がん 21.0% 乳がん 27.5% 子宮がん 22.3%（策定時） 令和3年度：がん検診受診率 胃がん 14.7% 肺がん 17.4% 大腸がん 21.2% 乳がん 25.6% 子宮がん 21.0%（現状値） 令和5年度：がん検診受診率 胃がん・肺がん・大腸がん 30.0%、 乳がん・子宮がん 40.0%（目標値）</p> <p>令和元年度の受診率は一旦上昇していましたが、以降、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の受診控えにより受診率が低下しています。</p> <p>【アウトプット】69歳までの対象者全員に個別で受診勧奨通知実施。また4月広報で「がん検診のお知らせ」案内を折込んでいます。</p> <p>【プロセス】新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で対面での受診勧奨事業ができませんでした。</p> <p>【ストラクチャー】受診勧奨事業自体の自粛に伴い事業ができませんでした。</p>
	今後の方向性

5.特定健康診査未受診者への再勧奨とお早め健康診査事業への参加勧奨

目的	肥満、高血圧、糖尿病などの生活習慣病予防・重症化予防対策として、特定健康診査やお早め健康診査を毎年受診することが重要となるため、未受診者に受診再勧奨を行い、各健診の受診率向上を目的とします。
事業の概要	特定健康診査を受診しなかった方とその家族に対して、電話による受診勧奨を実施します。また、35歳から39歳の国保資格者へお早め健康診査についても同様に実施します。
成功要因 未達要因	<p>【アウトカム】平成30年度：特定健康診査受診率 31.8%（策定時） 令和3年度：特定健康診査受診率 35.8%（現状値） 令和5年度：特定健康診査受診率 35.0%（目標値）</p>

評価結果		<p>特定健康診査の受診率は、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度に2.6ポイント下がりましたが、令和3年度は5.4ポイント上昇しました。</p> <p>【アウトプット】</p> <p>平成30年度：特定健康診査勧奨電話実施数 1,361件（策定時） お早め健康診査勧奨電話実施数 0件（策定時）</p> <p>令和3年度：特定健康診査勧奨電話実施数 1,587件（現状値） お早め健康診査勧奨電話実施数 6件（現状値）</p> <p>令和5年度：特定健康診査勧奨電話実施数 1,400件（目標値） お早め健康診査勧奨電話実施数 200件（目標値）</p> <p>電話勧奨で健診申込をする方も多く一定の効果がありました。しかし、若年層は日中不在で電話がつながりにくい状況でした。また、勧奨後に「受診しない（39%）」と答えた方のうち、その理由の多くは「通院中（13%）」「職場等で受診済（12%）」でした。</p> <p>【プロセス】 未受診者対策として、電話での受診勧奨だけでは目標達成できないので、受診勧奨の方法や勧奨の優先順位などを再度検討する必要があります。</p> <p>【ストラクチャー】 未受診者対策として電話で受診勧奨する人員の確保はできています。</p>
	今後の方向性	若年層の勧奨優先順位を上げ、より多くの勧奨を実施します。勧奨方法なども再検討し、今後も事業を継続します。

6.ふしめ年齢無料健康診査助成事業

目的	ふしめ年齢の方に特定健康診査自己負担金分の助成を行い、より気軽に健診を受診できるようにすることで健診の受診率向上を目的とします。
事業の概要	40歳、50歳、60歳、70歳のふしめ年齢の方に、特定健康診査無料受診クーポンを配布します。
評価結果	<p>成功要因</p> <p>未達要因</p> <p>【アウトカム】</p> <p>平成30年度：特定健康診査受診率 31.8%（策定時） 令和3年度：特定健康診査受診率 35.8%（現状値） 令和5年度：特定健康診査受診率 35.0%（目標値）</p> <p>【アウトプット】</p> <p>平成30年度：クーポン利用率 29.6%（策定時） 令和3年度：事業実施なし 令和2年度：クーポン利用率 21.4%（参考値） 令和5年度：クーポン利用率 35.0%（目標値）</p>

		<p>令和3年度より全年齢の対象者について健康診査自己負担金を無料化したため、事業を実施していません。</p> <p>【プロセス】 ふしめ年齢の特定健康診査自己負担金分を助成しました。</p> <p>【ストラクチャー】 保険年金課、中央保健センター、国保事務支援センター</p>
	今後の方向性	事業を実施していないため、データヘルス計画の評価対象事業から削除します。

7.特定保健指導

	目的	<p>高血圧、糖尿病などの生活習慣病は自覚症状がほとんどないまま進行し、心筋梗塞や脳卒中など深刻な病気の原因となります。特定健康診査を受診した結果、対象となった方に対し特定保健指導を実施し、糖尿病等の生活習慣病の発症や重症化予防を進めます。</p>
	事業の概要	<p>特定健康診査の受診結果から、メタボリックシンドロームのリスクが高いと判断された方に対し、集団健診当日（保健センター）および後日（保健センターもしくは市役所）に特定保健指導(生活習慣を改善するための保健指導)を実施します。</p>
評価結果	成功要因 未達要因	<p>【アウトカム】 平成30年度：特定保健指導終了率 32.8%（策定時） 令和3年度：特定保健指導終了率 44.4%（現状値） 令和5年度：特定保健指導終了率 36.0%（目標値）</p> <p>終了率は、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度に4.0ポイント下がりましたが、令和3年度は4.8ポイント上昇しました。</p> <p>【アウトプット】 平成30年度：特定保健指導実施者数 70名（策定時） 令和3年度：特定保健指導実施者数 103名（現状値） 令和5年度：特定保健指導実施者数 100名（目標値）</p> <p>特定保健指導実施者数は増えています。</p> <p>【プロセス】 令和元年度より一部の対象者の特定保健指導を外部委託したことで、今まで実施できていなかった個別健診・ドック受診の対象者に対しても実施することができました。</p> <p>【ストラクチャー】 特定保健指導を外部委託し体制を強化することができました。</p>
	今後の方向性	引き続き事業を実施し、生活習慣病発症者や重症者を減少させることができるようにしていきます。

8. 特定健康診査結果説明会

目的	特定健康診査受診者に健診結果の見方についての説明会を開催し、特定保健指導実施率向上を目的とします。
事業の概要	集団健診で特定健康診査を受診した方に対し、後日保健センターにて健診結果に関する説明会とロコモチェックおよび簡単な運動指導を実施します。
評価結果	<p>成功要因 未達要因</p> <p>【アウトカム】平成30年度：特定保健指導終了率 32.8%（策定時） 令和3年度：特定保健指導終了率 44.4%（現状値） 令和5年度：特定保健指導終了率 36.0%（目標値）</p> <p>【アウトプット】平成30年度：説明会参加率 26.1%（策定時） 令和3年度：実施なし 令和元年度：説明会参加率 10.7%（参考値） 令和5年度：説明会参加率 30.0%（目標値）</p> <p>【プロセス】集団健康診査受診者への特定健康診査結果説明会を実施</p> <p>【ストラクチャー】中央保健センター</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度以降、事業を実施していません。</p>
	今後の方向性

9. 喫煙・飲酒指導

目的	喫煙は COPD（慢性閉塞性肺疾患）および肺がんのリスク、多量の飲酒は生活習慣病のリスクを高めることから、対象者の方へ禁煙と適量飲酒の指導を行うことで QOL(生活の質)の向上を図ります。
事業の概要	特定健康診査の問診票から抽出した禁煙希望者・多量飲酒者へリーフレットの配布と個別指導を実施し、たばこや飲酒が健康に及ぼす影響の理解を促します。
評価結果	<p>成功要因 未達要因</p> <p>【アウトカム】</p> <p>≪喫煙≫平成30年度：喫煙率 11.8%（策定時） 令和3年度：喫煙率 11.4%（現状値） 令和5年度：喫煙率 8.2%（目標値）</p> <p>国や県全体の禁煙対策で減少しています。</p> <p>≪飲酒≫平成30年度：男性毎日2合以上飲酒割合 12.6%（策定時） 女性毎日1合以上飲酒割合 3.2%（策定時） 令和3年度：男性毎日2合以上飲酒割合 11.6%（現状値） 女性毎日1合以上飲酒割合 3.5%（現状値）</p>

		<p>令和5年度：男性毎日2合以上飲酒割合 11.3%（目標値） 女性毎日1合以上飲酒割合 2.9%（目標値） 男性の多量飲酒者は減少、女性は増加しています。指導実施者は増えていますが、禁煙・適正飲酒成功者が少なく、目標に近づけませんでした。</p>
	今後の方向性	禁煙・適正飲酒成功者は少ないですが、継続して事業を実施することで目標達成を目指します。

10.さらっとヘルシー教室

	目的	生活習慣病等について正しい知識を得てもらうことで、生活習慣（食事・運動）を改善し、生活習慣病の発症や重症化を予防します。
	事業の概要	特定健康診査受診者のうちメタボリックシンドローム該当者及び予備群と判定された方を対象に、生活習慣改善についての講義や指導を3回1クールで実施します。
評価結果	成功要因 未達要因	<p>【アウトカム】 平成30年度：メタボリックシンドローム該当者率 18.2%（策定時） 令和3年度：メタボリックシンドローム該当者率 19.7%（現状値） 令和5年度：メタボリックシンドローム該当者率 11.3%（目標値） メタボリックシンドローム該当者率は増加しています。特定健康診査受診者の増加に伴い増えました。</p> <p>【アウトプット】平成30年度：教室参加のべ人数 51名（策定時） 令和3年度：教室参加のべ人数 51名（現状値） 令和5年度：教室参加のべ人数 60名（目標値） 新型コロナウイルス感染症の影響で対面式の教室参加を控える傾向がありました。</p> <p>【プロセス】教室参加勧奨を個別に郵送することで参加者が増えました。</p> <p>【ストラクチャー】講師の確保はできました。</p>
	今後の方向性	生活習慣病の発症・重症化予防のために教室の方法や内容などを再検討し事業を継続して行います。

11.歯周病対策事業

目的	糖尿病等の生活習慣病を有する人は歯周病にかかりやすいため、その予防が重要です。歯周病で歯を失うことのないように歯周病の発症予防と重症化を予防します。
事業の概要	特定健康診査受診者のうち歯周病等のハイリスク者を対象に歯科健康教室を開催し、歯科医師による講義と歯科衛生士による歯周病予防歯科指導を実施します。
評価結果	<p>成功要因 未達要因</p> <p>【アウトカム】 平成30年度：何でもかんで食べることが出来る割合 69.6%（策定時） 令和3年度：何でもかんで食べることが出来る割合 77.3%（現状値） 令和5年度：何でもかんで食べることが出来る割合 76.6%（目標値） 何でもかんで食べることができる人の割合は目標を達成しています。</p> <p>【アウトプット】平成30年度：教室参加人数 22名（策定時） 令和3年度：教室参加人数 13名（現状値） 令和5年度：教室参加人数 40名（目標値） 教室参加者は新型コロナウイルス感染症の影響で減少しました。</p> <p>【プロセス】教室参加について、健診結果送付時にチラシで勧奨していましたが、個別案内に変更し勧奨しました。</p> <p>【ストラクチャー】講師の確保はできました。</p>
	今後の方向性

12.レッドカード事業

目的	特定健康診査の結果、生活習慣病に関する検査項目が異常値にもかかわらず専門医療機関を未受診の者（重症未受診者）に早期受診勧奨を行い、適正受診につなげ、生活習慣病の重症化を予防します。
事業の概要	特定健診受診者のうち対象の重症未受診者を国保事務支援センターが抽出。その対象者に保健師が電話で受診状況等を確認し、受診が確認できない方に受診勧奨カード（紹介状）と受診勧奨通知書を送付します。
評価結果	<p>成功要因 未達要因</p> <p>【アウトカム】 平成30年度：高血圧要医療者の割合 29.0%（策定時） 脂質異常要医療者の割合 30.5%（策定時） 糖尿病要医療者の割合 7.7%（策定時） 令和3年度：高血圧要医療者の割合 29.9%（現状値） 脂質異常要医療者の割合 28.6%（現状値） 糖尿病要医療者の割合 7.7%（現状値）</p>

	<p>令和5年度：高血圧要医療者の割合 27.5%（目標値） 脂質異常要医療者の割合 26.4%（目標値） 糖尿病要医療者の割合 10.0%（目標値）</p> <p>要医療者の割合は増加しており、コントロール不良の方が増加しています。</p> <p>【アウトプット】 平成30年度：紹介状発行者のうち 18.0%が治療開始（策定時） 令和3年度：紹介状発行者のうち 16.4%が治療開始（現状値） 令和5年度：紹介状発行者のうち 23.0%が治療開始（目標値）</p> <p>紹介状を発行するもなかなか専門医療機関への受診につながっていないのが現状です。</p> <p>【プロセス】生活習慣病のハイリスク未受診者への受診勧奨をしました。</p> <p>【ストラクチャー】紹介状発行対象者の受診状況等把握するための情報連携を強化する必要があります。</p>
今後の方向性	紹介状発行対象者や勧奨方法の再検討をし、専門医療機関への受診につなげ重症化を予防していきます。

13.糖尿病性腎症重症化予防指導事業

目的	糖尿病が重症化するリスクの高い未受診者・受診中断者に適切な受診勧奨と保健指導を実施し、人工透析患者の減少と糖尿病による腎症の進行を遅らせることを目的とします。
事業の概要	特定健康診査受診の結果より国保事務支援センターが対象者の抽出を行い、市で適切な受診勧奨と生活習慣改善の指導を実施します。
評価結果	<p>【アウトカム】 令和3年度：指導実施者のうち人工透析移行患者数 0名（現状値） 令和5年度：指導実施者のうち人工透析移行患者数 0名（目標値）</p> <p>指導実施者は人工透析に移行していません。</p> <p>【アウトプット】平成30年度：1名に指導（策定時） 令和3年度：5名に指導（現状値） 令和5年度：5名に指導（目標値）</p> <p>指導実施者の人数は増えています。</p> <p>【プロセス】対象者の抽出は国保事務支援センターで実施、最終的な対象者は市で再抽出し対象を絞ることができました。</p> <p>【ストラクチャー】指導に従事できる専門職の増員ができました。</p>
	今後の方向性

14.運動啓発冊子作成

目的		運動習慣のきっかけを作り、運動習慣の促進によるメタボリックシンドロームの減少を目的とします。
事業の概要		特定健康診査受診者へ運動習慣の促進として、市内の運動教室や運動ツールを紹介した運動啓発冊子を作成し配布します。
評価結果	成功要因 未達要因	<p>【アウトカム】 平成30年度：運動習慣者の割合 男性 39.0% 女性 32.9%（策定時） 令和3年度：運動習慣者の割合 男性 39.3% 女性 32.2%（現状値） 令和5年度：運動習慣者の割合 男性 44.7% 女性 48.1%（目標値） 男性の運動習慣のある人は増えていますが、女性は新型コロナウイルス感染症の影響もあるのか減少しています。</p> <p>【アウトプット】 令和3年度：特定健康診査受診者や特定保健指導対象者、他希望者に啓発冊子を配布 令和5年度：特定健康診査受診者に啓発冊子の配布</p> <p>【プロセス】 運動啓発冊子を作成し、特定健康診査受診者に配布することで運動習慣のきっかけ作りにすることができました。</p> <p>【ストラクチャー】 ウェルネスシティ健康づくり計画身体活動部会で冊子を作成できました。</p>
	今後の方向性	冊子の内容等を検討し、運動習慣のきっかけ作りとなるように事業を継続して行います。

15.運動教室助成事業

目的		運動習慣の促進によるメタボリックシンドロームの減少を目的とします。
事業の概要		特定健康診査受診者および特定保健指導対象者に、市が主催する運動教室の参加費を助成します。
評価結果	成功要因 未達要因	<p>【アウトカム】 平成30年度：運動習慣者の割合 男性 39.0% 女性 32.9%（策定時） 令和3年度：運動習慣者の割合 男性 39.3% 女性 32.2%（現状値） 令和5年度：運動習慣者の割合 男性 44.7% 女性 48.1%（目標値） 男性の運動習慣のある人は増えていますが、女性は新型コロナウイルス感染症の影響もあり減少しています。</p>

	<p>【アウトプット】平成30年度：助成人数0名（策定時） 令和3年度：助成人数0名（現状値） 令和5年度：助成人数5名（目標値）</p> <p>【プロセス】助成事業の周知は健康診査受診者のみでした。</p> <p>【ストラクチャー】申請があればいつでも助成可能となっています。 平成30年度以降利用者なしの状況が続いています。事業内容の周知が不十分であることが考えられ、事業の啓発と周知方法について見直す必要があります。</p>
今後の方向性	運動習慣者を増やすために、事業の周知を徹底し利用者が増える取組をし、今後も事業を継続します。

16.宇陀けあネット活用の啓発

目的	医療・介護の情報を市内医療介護機関等で共有する情報連携ネットワークシステムである「宇陀けあネット」への登録者数を増やし、システムを活用することで、登録者の服薬・検査の重複防止を目的とします。
事業の概要	「宇陀けあネット」への登録者数を増やすための勧奨を実施します。
評価結果	<p>【アウトカム】</p> <p>平成30年度：重症投薬者数のべ人数460名（策定時） 多剤投薬者数のべ人数1043名（策定時）</p> <p>令和3年度：重症投薬者数のべ人数696名（現状値） 多剤投薬者数のべ人数203名（現状値）</p> <p>令和5年度：重症投薬者数のべ人数400名（目標値） 多剤投薬者数のべ人数800名（目標値）</p> <p>重症投薬者は増えていますが、多剤投薬者は減っています。</p> <p>【アウトプット】平成30年度：登録者数5,500名（策定時） 令和3年度：登録者数7,114名（現状値） 令和5年度：登録者数8,000名（目標値）</p> <p>「宇陀けあネット」登録者数は増えていますが、現在介護サービス面での活用が主になっており、重症投薬・多剤投薬の改善には直接つながりにくいと考えられます。</p>
今後の方向性	「宇陀けあネット」の運用主体が市から一般社団法人へ変更になっていることから、データヘルス計画から削除します。

4. 事業の精査について

今回、各事業の指標の進捗評価を行うとともに、各事業の精査を行いました。その結果、事業の中には事業廃止や変更により評価不能となっているものがありました。そのため、以下の保健事業については、次年度実施予定の第2期データヘルス計画の最終評価対象からはずすこととします。

事業名	評価対象からはずした理由
ふしめ年齢無料健康診査助成事業	令和3年度より全年齢の対象者について健診自己負担金を無料化したため
特定健康診査結果説明会	新型コロナウイルス感染症の影響により事業を実施できなかったため
宇陀けあネット活用の啓発	現在、宇陀けあネットの運営主体が市から法人へ移行しており、国保事業担当部署に閲覧権限がないこと、現在介護サービス面での運用が主になっていることから、宇陀けあネット活用の啓発が重症投薬・多剤投薬の改善には直接つながりにくいいため

5. 今後の予定について

中間評価では、個別保健事業の進捗状況の評価を行いました。第2期データヘルス計画の最終評価については令和5年度に行うとともに、第3期データヘルス計画の策定にも取り組みます。

中間評価における達成状況については、16項目中7項目で「横ばい」「悪化している」となっています。この要因には、新型コロナウイルス感染症感染拡大による影響の他に、効果的な実施方法を選択できていなかったこと、事業とアウトカムとの関連が弱いことが考えられます。そのため、今後も、庁内関係課と連携し、進捗状況や課題を共有しながら事業効果を高めるための改善策を再検討するなど、目標達成に向けた保健事業の推進を図ります。

また、本計画は74歳以下の国民健康保険被保険者を対象としていますが、本市では、後期高齢者を対象に、高齢者が抱える様々な健康課題に対応するための「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」に取り組んでいます。それを踏まえ、国保保健事業においても、一体的実施の視点を重視し、生涯を通じた支援に繋がるよう事業の推進に努めて参ります。

7. 資料

第2期データヘルス計画評価指標出典一覧

指標		目標値 (R5年度)	現状値 (R3年度)	出典
特定健診受診率		35.0%	35.8%	法定報告
お早め健診受診率		12.8%	12.0%	宇陀市国保運営協議会資料
人間ドック等受診者数		900名	663名	宇陀市国保運営協議会資料
がん 検 診 受 診 率	胃がん	30.0%	14.7%	地域保健事業報告
	肺がん		17.4%	
	大腸がん		21.2%	
	乳がん	40.0%	25.6%	
	子宮がん		21.0%	
ふしめクーポン利用率		35.0%	実施なし	宇陀市国保運営協議会資料
特定保健指導終了率		36.0%	44.4%	法定報告
特定健診結果説明会参加率		30.0%	実施なし	宇陀市国保運営協議会資料
喫煙率		8.2%	11.4%	特定健康診査問診票
飲酒 割合	男性毎日2合以上	11.3%	11.6%	特定健康診査問診票
	女性毎日1合以上	2.9%	3.5%	
メタボ該当者率		17.3%	19.7%	国保連合会法定報告後関連資料
何でもかんで食べることができる人の割合		76.6%	77.3%	特定健康診査問診票
高血圧要医療者の割合		27.5%	29.9%	特定健康診査集計結果
脂質異常要医療者の割合		26.4%	28.6%	
糖尿病要医療者の割合		10.0%	7.6%	
糖尿病性腎症重症化予防指導実施者のうち人工透析移行者数		0名	0名	国保総合システム「厚生労働様式(2-2)」より
男性運動習慣者の割合		44.7%	39.3%	国保連合会法定報告後関連資料
女性運動習慣者の割合		48.1%	32.2%	
重症投薬者のべ人数		400名	696名	国保総合システム「重複多剤処方の状況」より
多剤投薬者のべ人数		800名	203名	